

ふるさと祭り東京2018—日本のまつり・故郷の味—

10日間で421,413人が来場！

第9回全国ご当地どんぶり選手権では『志布志発 かごしま黒豚三昧』が念願のグランプリを獲得！

開催期間：2018年1月12日(金)～21日(日)【10日間】

ふるさと祭り東京実行委員会は、1月12日(金)から21日(日)までの10日間、東京ドームにて、全国各地に伝わる伝統の‘祭り’や‘ふるさとの味’が一堂に会した『ふるさと祭り東京2018—日本のまつり・故郷の味—』を開催し、**421,413人**のお客様にご来場いただきました。

最終日の21日(日)には、「第9回全国ご当地どんぶり選手権」の結果発表・表彰式を開催しました。今回本戦出場の全14どんぶりのうち、鹿児島県の「志布志発 かごしま黒豚三昧」が、見事**グランプリ・観光庁長官賞**に輝きました。「志布志発 かごしま黒豚三昧」は昨年まで2年連続準グランプリとなっており、念願のグランプリ獲得となりました。

準グランプリ(第2位)は北海道の「十勝牛とろ丼」、第3位は大分県の「豊後水道 寒ブリ漬け丼(熱めし丼)」、第4位は愛知県の「名古屋コーチン親子丼」、第5位は福井県の「越前！蟹飯かに丼ぶり」でした。この5どんぶりには次回の全国ご当地どんぶり選手権のシード権が与えられます。なお、グランプリには賞金50万円+副賞、準グランプリには賞金30万円+副賞、第3位には賞金10万円+副賞を授与しました。

グランプリを受賞した「志布志発 かごしま黒豚三昧」の、志布志いい肉食べさせ隊 立堀信夫さんは、「昨年準グランプリになってから、大きなプレッシャーがありました。ずっと念願だったグランプリを獲得することができました。7年間応援を続けてくれた地元の皆様や、激励の言葉をくださったお客様に感謝したいです。ぜひ、鹿児島、そして志布志に来てください。」と喜びを語りました。



「第9回全国ご当地どんぶり選手権」  
結果発表・表彰式の様子  
志布志いい肉食べさせ隊 立堀信夫さん

<第9回全国ご当地どんぶり選手権・結果>

【グランプリ・観光庁長官賞】



志布志発 かごしま黒豚三昧  
志布志いい肉食べさせ隊  
(鹿児島県)

【準グランプリ】



十勝牛とろ丼  
(株)円らく  
(北海道)

【第3位】



豊後水道 寒ブリ漬け丼(熱めし丼)  
豊後水道かまえ直送活き粋船団  
(大分県)

※全国ご当地どんぶり選手権は、お客様がどんぶりを食べた後に、気に入ったどんぶりに“コイン”を投票していただき、順位が決まります。

また、会期中、「五所川原立佞武多」「青森ねぶた祭」をはじめ、「秋田竿燈まつり」「高知よさこい祭り」「沖縄全島エイサーまつり」など全国各地のお祭りが会場内で山車の運行や演舞を披露し、『ふるさと祭り東京』から元気と活気を発信しました。

ふるさと祭り東京実行委員会 岩村直道事務局長は、「本当に多くの皆様に支えられ、10回目の開催を迎えることができました。イベントを通じてご紹介した日本の素晴らしい文化であるお祭りやご当地の味を、ぜひ今度はそれぞれのご当地へ足を運んでいただき、体感していただきたいと思います。」と語りました。

本年で10回目の開催となりました「ふるさと祭り東京—日本のまつり・故郷の味—」は、皆様のご期待にお応えし、2019年も開催の予定です。今後もご期待ください。